

第2回「うたコンまつり」

2018.6.17 下根ヶ丘行政区

地域の活性化と交流の輪を広めようと、去る6月17（日）に下根ヶ丘会館において明るく 楽しく 元気に 第2回「うたコンまつり」を開催しました。

梅雨の晴れ間にも恵まれ、開始時には用意した100席もほぼ満席となる好況に主催者側もひと安心です。



◎ 開会セレモニー

午前10時に牛久市区長会の会長や近隣の区長等のご来賓の下、昨年に続き快く受けてくれました、羽鳥万里さんの司会進行により賑やかに開演しました、

先ずは、たまり場会代表の開会ことば、藤田区長のあいさつ、次に来賓を代表してまして柳井区長会会長からのごあいさつを頂いた後に、中村みどり会会長の乾杯でにぎにぎしく開会しました。



柳井区長会会長

藤田区長



◎ 午前の部の開演

会場いっぱいの来場者が待つ中、先ずは皆さんの大好きなカラオケからの開始です。

大きな拍手を受けて次々とステージ中央に登場したのは、顔なじみの皆さん、自慢の演歌から始まり、お友達との爽やかな唱歌、特に御年90代になる2





組よる郷土の唱歌を元気よく、さらにサークル仲間でのコーラスなど多彩にわって、堂々と気持よく歌っていただき満足そうでした、そして午前の部の締めとして、会場に新鮮な風を吹き込むように、子ども会から3組の出演で、先ずは仲良し2人組による清清しさに溢れるチャダンスを、次いでピアノの独奏により「少年時代」を、さらに仲良し兄妹と友達の4人で元気に合唱を披露して頂きました。



◎ ランチタイムと爆笑“ガマロ上”

司会者とスタッフの連携により、プログラムも順調に進み予定どおり午前の部（20組）を終了し、引き続き午後もというお客さんに、世話役が昼食（おにぎり）と飲み物を配り、休憩を取りながら楽しく食べていただきました。

休憩後、余興として郷土の伝承文化である“筑波山ガマロ上の披露です、袴に法被の衣装に脇太刀の主役と、介助協力者がさっそうと登場し、会場の雰囲気は一変し、響き



渡る名調子に乗っての口上の始まりです、多彩な芸と口上を織り交ぜながらの熱演に爆笑と拍手にと大いに盛り上がり、元気よく賑やかに伝統芸をご披露してくれました、15分間の熱演と熱唱にお疲れ様でした。

◎ 午後の部の開演



予定どおり13時に開演し、まずは藤田区長の詩吟で“水戸弘道館”を朗々と披露し、次いで民謡に2名のベテランに協力して頂いた、故郷の名曲を自慢ののどを披露してくれました、やはり民謡はいいですね。



次に、この団地の初代自治会長より島根の郷土芸能“安来節”に乗せて、“どじょう掬い”を軽快な踊りを披露してくださいました。その後は、サークル仲間でのコーラスやカラオケも絶好調に達し、これぞ熱唱だ、そして「うたコン」の大締めを、多彩にわたって活動されております並木様より、名曲「暎の母」を素晴らしい熱唱・熱演で披露して頂きました。





予定より早く、午後2時すぎに36組延べ60名余の「うたコン」に出演されました全てが終了しました。河島自治会副会長のあいさつ、羽鳥たまり場会の閉会のことばを頂いて閉会しました。



◎ 打ち上げ

引き続き開られた恒例の打ち上げセレモニーにも60名ほどの、多くの皆さんに参会して頂き、開催への成功や次回への継続など和やかに、そしてカラオケも延々と続き賑やかな長い一日となりました・・・



◎ 結び

- ・ 今回の開催に際しましては、参加に快くご協力を頂き、また多くの皆さんご来場いただき盛り上げて下さいました、自治会の皆様に感謝を申し上げます
- ・ また、たまり場会のボランティア及びサークル仲間等の皆さんに長時間にわたってのご支援・ご協力を有難うございました
- ・ 他の地域からも多く来ていただき、来場者は延べ120名余と大盛況となりました。

平成30年7月7日

下根ヶ丘行政区 たまり場運営会